



「次世代モビリティ社会と地方自治体の役割を考える」フォーラムの開催について

令和元年 8 月 29 日
広域環境保全局

電気自動車等の普及は初期段階を脱するとともに、自動車産業は、100年に1度とも言われる変革期を迎え、自動車そのもののあり方が大きく変化と言われています。

そこで、本フォーラムを開催し、関西広域連合での次世代自動車普及促進事業におけるこれまでの取組を振り返るとともに、「モノ」としてのモビリティから「サービス」としてのモビリティへの転換など次世代自動車を取り巻く最先端の動向について情報発信し、地域課題（エネルギー・環境問題、交通弱者問題）の解決ツールとしての次世代自動車の活用方策の事例共有を通じて今後の普及方策を展望します。

- 1 日 時 令和元年 10 月 4 日（金） 13 時～15 時 20 分
- 2 場 所 けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）（京都府木津川市）
- 3 主 催 関西広域連合広域環境保全局
※京都スマートシティエキスポの関連事業として開催
- 4 内 容（予定）
 - 関西広域連合のこれまでの取組
 - リレー講演
 - (1) 民間事業者（電気事業者、自動車メーカー、通信事業者等を予定）
次世代自動車の新たな活用展開に関する企業の取組事例をリレー形式で講演
 - ・各企業における次世代自動車普及戦略
 - ・EVのエネルギーリソースとしての活用方策に関する事例 等
 - (2) 行政（国、地方自治体）
 - ・自治体と企業が連携した次世代自動車の活用事例
 - ・次世代自動車の今後の普及方策と行政の役割について 等
- 5 展 示
 - EV、PHV、FCV写真コンテストの入賞作品の展示
 - 関西広域連合における、これまでの次世代自動車普及促進の取組を振り返る展示
- 6 対象者・定員
 - 次世代モビリティ社会に関心のある事業者、地方自治体職員等（定員約100名）
- 7 参加費用、申込方法等
 - 無料、事前申込不要

※京都スマートシティエキスポは、国際的・地域間交流やビジネス交流・技術交流によるネットワークの形成の基盤となるイベントであり、講演やパネルセッション、展示等が行われる。

